

発生・発見日時	令和 6年 12月10日	12時 00分頃
天 竜 川	右岸	量水標の辺り (9.0 km)



河川敷に「これは川の水位を目で観測するための量水標です」と書かれた量水標を見つけました。金原明善の生家から徒歩で移動できる距離で、小学生が社会科や理科、総合的学習の時間で天竜川の治水や川の働きを学ぶ上で、今、どんな取組がされているかを知る貴重な教材になると思います。コンクリートの階段があり、安全に川べりまで降り、見学できるのも嬉しく思います。子どもだけでなく、教師も知らないのではないのでしょうか。

残念なことに、そのすぐ北側数メートルの所に、一人では運べない大きさのマットレスと大きな座卓が捨てられていました。

現地確認のうえ、適切に処理いたしました。